

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：カール・ヴィルヘルム・ステンハマー / ガバナー：野中 弘之

会長：内山俊夫 / 幹事：山本憲作

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：境野登章 / 副委員長：廣川和夫

委 員：島田修、鈴木貴大、田中敏男

石渡健司、小菅克祥、廣世雅昭

2005～06 国際ロータリーのテーマ
「超我の奉仕」



SERVICE Above Self

第1978回 芸術劇場・最終例会 (6月29日)

行田市小学生芸術劇場・最終例会



会長挨拶 内山俊夫 会長

皆さんこんばんは。

先ほどの点鐘で、残すところあと1回の例会終了の点鐘となりました。心残りと申しますか、まだ余力があると申しますか、例年の会長が最終例会でのこの場での想いは同じ気持ちなのだろうと、しみじみ感傷に浸っておるところであります。

昨年の7月7日の七夕例会に始まり、本日の行田市小学生芸術劇場とこの最終例会まで、本当に1年間、会員そしてご家族の皆様には行田ロータリークラブの活動と運営にご協力いただき誠にありがとうございました。

本年度のRI会長のテーマは「超我の奉仕 “SERVICE Above Self”」という標語が採択されました。この標語は、ロータリーの高い意識のあり方を言い表していると思います。奉仕活動等ロータリー活動

を通して、世界の平和と未来の世代への願う、私たちロータリアンにとりましては、大きな目標であり課題でもあります。1年間「超我の奉仕」の理想に向けて何かを考え、行動できたことに深く感謝を致しますとともに、本当に高い理想だと、まだまだ道のり半ばだと反省とともに、新たな思いをいただく事が出来ました。

RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏の「超我の奉仕」をうけまして、年当初の行田ロータリークラブは会長として「未来に向けて・親睦から友愛へ」、テーマ「それでこそロータリー」を目指して活動をはじめました。

友情や家族を大切に、地域社会における奉仕活動、職業奉仕活動をクラブ会員の皆さまとともに行う多くのプログラムに取り組んで参りました。

(次頁へつづく)

ロータリーの友情を深め、家族とともに楽しめる活動につきましては初の試みでありましたが「家族合同バーベキュー大会」を2回開催しました。どんどん焼ける肉に苦戦しながら、そして7月の1回目は熱さに耐えながらの汗を流しての楽しい大会となり、2回目は災害支援ボランティア活動を体験と9月の雨の中ラーメンを美味しく頂き、「震災の時、本当にこんなラーメンをふるまわれたら感動だね」と家族と語り合え体験できたことであります。

また、親睦旅行も家族同伴で「愛・地球博」と長島温泉を企画しました。「名古屋のきしめん」を十分に食べ、長島温泉では「恐怖のジェットコースターの体験」「ベコニヤガーデンに感動」「ゆっくり温泉」とそれぞれに家族と楽しんでいただき、翌日は「愛・地球博」へとまいり、「地球の過去から未来」そして、環境変化による地球温暖化、公害問題等世界の国々の考えは、青くて綺麗な地球を守ろう、自分たちの生きている地球の未来は、今生きている現代の我々の仕事である改めて考えさせられました。ロータリー活動の奉仕活動そのものも、この環境保全にある事を感じました。

また、多くの会員の皆さんは、万博会場のロータリー館でのメイクアップに協力できました。心に残る親睦旅行でとなりました。

日帰り旅行は2回計画しましたが、さくらロータリークラブの30周年記念式典との関係上、1回となりましたが、職業奉仕委員会と音楽文化委員会、親睦委員会の初めによる日帰り旅行で、職業奉仕委員会は東京証券取引所の見学を致し、コンピューターによる投資体験をしました。音楽文化委員会は劇団四季の「オペラ座の怪人」を鑑賞し、心打たれる興奮に埋もれました。その後は親睦委員会により「カレッタ夕留」レストラン・ビーチにてお台場の夜景と銀座の夜景を楽しみながら、ワインと美味しいイタリア料理と楽しい会員家族の会話で親睦が出来ました。

社会奉仕活動は、皆さまからのスマイルボックスへ例会ごとに、多大なご寄付いただきここに感謝いたします。本当にニコニコのお金が、未来に向けて青少年育成と、地球の将来を大切に活動に役立つと会長になりましてしみじみ感じました。

ロータリー100周年記念事業として3年目となります。行田市立図書館、行田ロータリー文庫への児童図書の寄贈は835冊、延べ2741冊となりました。また、識字率向上の目的開催された「アジアの子ども達の絵日記展」は多くの市民の皆さまに紹介できました。また関連いたしまして、読書推進活動として12月8日に「こうすれば本好きな子に育つ」と題しまして、狭山ヶ丘高等学校の小川義男校長先生の講演会を「みらい大ホール」にて400名の子供を持つ保護者の皆様を中心として名作が子どもの心に与える本当の力と、親の心がけの大切さの話をして頂き、親子での本を通した心の通い合いを願いました。

行田・白河児童交流は当クラブの担当で第8回目の開催となりました。ものづくり大学の学食でのカレーライス、古代蓮公園での手打ちうどんと昼食での交流はなんともいえませんでした。子ども達は出

会いから別れまで、徐々に心が打ち解けあい、理解を深めていくのが早く、子どもたちの交流の素晴らしさに感心しました。

白河ロータリークラブの皆さまとは、交換卓話、9月16日の姉妹クラブ締結の更新と白河提灯祭りへの参加をし、提灯祭り初めて神輿の出陣を、鹿島神社の本殿に行田ロータリークラブ会員のみが上からさせていただき、白河と行田の長い歴史の重みを深く感じるとともに白河RCの皆さまの行田RCに対する思いを重く感じさせられました。

また、5月の火祭には白河RCがロータリー甲子園への出場と重なりましたが出席いただき、湯本会員の「できたての天然温泉」にも入浴いただき、火祭例会を楽しんでいただきました。

2月には、ものつく大学・行田市との共催で「ものづくり大学特別公開講座」を開催し、講師にNHKアナウンサー宮川泰夫さんを招き「魅力ある街とは」と題し、城下町、埼玉古墳の行田を、全国で「のど自慢大会」にて訪問した街づくりの必要性を、多くの市民の皆さまに参加いただき開催できました。

そして、本日は本年度最後の最後まで子どもたちの未来に向けた奉仕活動をさせていただきました。行田市教育委員会との共催で実行委員委員会を立ち上げ計画をいたし、市内16校小学5年生815名の皆さんに、「くもの糸」「走れメロス」を平野啓子さんの語りと渡辺雄一さんのピアノで鑑賞していただきました。子どもたちの事件が社会問題となる中、名作の中から優しく、勇気のある、友情と約束をまもる心をもった素晴らし社会人に成長してい欲しいと願います。

本年度は特にみらいの青少年に向けた大きなメッセージとなりました。ありがとうございました。

そのほか、例会の卓話には多くの講師の皆さまに熱心な、役に立つお話しを頂き感謝いたします。また、会員卓話にもご協力いただきました。この一年間、行田ロータリークラブの全ての事につきまして、多くの皆さまに支えられて本日を迎えることが出来ました。各委員長、委員会の皆さまには委員会活動の詳細の紹介が出来ませんが深く感謝いたします。特に、親睦委員会の皆さまには、例会の運営には毎回、会員の方よりも早くから例会の準備等お手数をかけました。苦労ばかりかけましたこととお詫び申し上げます。

そして、幹事として山本憲作さんには先輩でありながら、至らない会長を陰になりひなたになり支えていただきました事は言葉に表せないほどであります。本当に奥様にはやせる思いの1年間であったと思います。本当にありがとうございました。また、事務局の吉田さんにも深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、次年度の小池利昌会長年度に於きましても、会員の皆さま、ご家族の皆様の更なるご支援ご協力を切にお願いしまして1年間の感謝の挨拶とさせていただきます。

本当に皆さま、ありがとうございました。

ニコニコ報告

皆様のご協力に感謝申し上げます。

合計 ¥ 8 5 0 0 0